

石岡地域医療計画

—石岡地域に必要な医療体制について—

令和2年1月策定

令和4年4月改定

石岡市・かすみがうら市・小美玉市

目 次

第1章 計画策定のあらまし	1
（1）計画策定の背景	1
（2）計画策定の趣旨	1
（3）計画の位置づけ	2
（4）計画策定・改定のアプローチ	2
第2章 石岡地域における医療の状況	5
（1）石岡地域の人口構造	5
（2）周辺及び3市内の医療提供体制	6
（3）市民の受療動向	11
（4）救急搬送等の実績	15
第3章 石岡地域に必要な医療提供体制	18
第4章 必要な医療提供体制の構築に向けた取り組み	19
（1）計画の基本理念	19
（2）基本理念の実現のために必要な医療対策	19
（3）行政が担う対策に係る取り組み	21
資料編	22

※ 本書の表及びグラフにおける数値は、四捨五入により端数処理をしているため、内訳の計と合計が一致しないことがあります。

第1章 計画策定のあらまし

(1) 計画策定の背景

近年、少子高齢化が進み、人口は減少する一方で、高齢者人口の割合は上昇を続けています。令和7（2025）年には、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となり、医療・介護のニーズは今後も増大していく見込みです。こうした中、国では、平成26（2014）年6月に、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立し、地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保の方向性が示されました。これによる改正医療法に基づき、都道府県において、「地域医療構想（将来の医療提供体制に関する構想）」を医療計画の一部として策定することが規定され、茨城県でも「茨城県保健医療計画」の一部として「茨城県地域医療構想」を策定し、令和7（2025）年における医療需要と将来の病床数の必要量を病床機能区分ごとに示し、その実現に向けた施策及び今後の検討の方向性を示しました。

このような流れの中、石岡市、かすみがうら市、小美玉市の3市では、平成29年度に3市内で分娩できる医療機関がなくなったことを契機に、平成30年度に「石岡地域市民医療懇談会」を開催し、地域医療の課題等について市民への公開のもと、意見交換を行いました。その結果、『緊急診療の拡充』や『二次救急の充実』、『地元産科・小児科を』などの意見があり、医師不足をはじめとする地域医療の課題が明らかになりました。

石岡市医師会管内である石岡地域^{*}では、昭和50年代から、地域の医療ニーズに対応するため、石岡市医師会と関係自治体が連携して、理想の医療サービスを目指し、休日診療や予防医学の拠点としてのメディカルセンター、臨床検査センターの開設など、様々な施策を講じてきた経緯があります。しかしながら、30年余りが経過し、新たな課題が生じ、その課題の解決策等について検討する必要性が出てきました。

こうした背景のもと、石岡地域でも、全ての世代の人が安心して医療を受けることができるまちづくりを目指し、地域の実情をよりきめ細やかに把握し、地域で連携しながら主体的な取り組みを推進していくために、「石岡地域医療計画—石岡地域に必要な医療体制について—」を策定するものとなりました。

(2) 計画策定の趣旨

少子高齢化と地方での医師不足が進む中で、石岡地域に住む人が、今後も安心して暮らせる地域社会を作っていく必要があります。具体的には、課題となっている産科設置や小児科拡充、さらには救急医療体制の継続などが可能となる医療体制の実現が求められます。

本計画は、行政と地元医師会、地域の医療機関が連携して必要な医療体制の整備に向け、取り組みを推進することを目的に策定するものです。

^{*} 本計画では、石岡市医師会管内である石岡市（石岡地区及び八郷地区）、かすみがうら市（千代田地区のみ）、小美玉市（玉里地区のみ）をあわせて石岡地域とします。

(3) 計画の位置づけ

本計画は、法律に基づいて策定することが求められるいわゆる法定計画とは異なり、石岡地域がおかれた状況や課題等に基づき、地域の関係者や有識者との検討・協議を経て、地域独自の取り組みを自主的にまとめたものです。

また、本計画は、石岡地域の市民が、将来にわたって安心して医療を受けられるような体制づくりの目標とその実現のための方策を具体化していくものであり、石岡市、かすみがうら市、小美玉市の3市の総合計画や各種関連計画との整合・連携を図ります。

(4) 計画策定・改定のアプローチ

① 策定のアプローチ

ア 策定の経緯

石岡市、かすみがうら市、小美玉市の3市の医療課題等については、平成30年度に開催した「石岡地域市民医療懇談会」の中で、3市の市長及び議長並びに市民代表者からなる議論を市民への公開のもと、意見交換を行いました。その結果、『緊急診療の拡充』や『二次救急の充実』、『地元産科・小児科を』などの意見があり、医師不足をはじめとする地域医療の課題が明らかになりました。

こうした状況を受けて、令和元年度に、3市の市長と石岡地域の医療を担っている石岡市医師会の会長による任意の会合、「石岡地方医療対策カンファレンス」が開催され、地域医療の現状分析と今後目指すべき医療体制について専門的な検討が必要との合意がなされました。

そして、専門的な知見からの検討を行う組織として、地域医療を担っている医療関係者や行政、有識者で構成される「地域医療に係る対策を検討する専門委員会」が組織され、石岡地域に必要な医療体制について、4回にわたり協議を重ね、具体的方策として、複数病院の再編統合と病床の再配分を行うことが必要との結論を得ました。また、これらを地域医療計画（案）としてまとめました。

その後、石岡地方医療対策カンファレンスにおいて、3市の市長及び石岡市医師会の会長からいただいた意見を反映するとともに、市議会や市民の皆様の理解と協力も得ながら見直しを行い、令和2年1月、石岡地域の目指すべき医療体制の整備のため、必要な取り組みをまとめた石岡地域医療計画を策定しました。

イ 策定のプロセス

(ア) 石岡地方医療対策カンファレンス

	開催月日	議事
第1回	令和元年6月20日	石岡地方の地域医療の現状と方策について 今後の地域医療対策の進め方（案）について
第2回	令和元年11月29日	石岡地域医療計画（案）について
第3回	令和2年1月22日	石岡地域医療計画（案）について

(イ) 地域医療に係る対策を検討する専門委員会

	開催月日	議事
第1回	令和元年8月7日	石岡地域における医療の現状について 石岡地域における医療の課題の整理について
第2回	令和元年9月19日	石岡地域の医療課題に対する具体的な方策について
第3回	令和元年10月16日	石岡地域の医療課題に対する具体的な方策について
第4回	令和元年11月21日	石岡地方医療対策カンファレンスに提出する報告書等について

(ウ) パブリックコメント

② 改定のアプローチ

ア 改定の経緯

策定した石岡地域医療計画に基づき、令和元年度、病院の再編統合（公立化）と病床の再配分による医療体制の整備の実現に向けた、病院整備基本計画策定に係る令和2年度当初予算案を計上しましたが、当案は、修正となりました。

これを受け、公立化に限定せず、民間医療機関の協力の可能性についても検討するため、地域の病院へ病院整備に関する意向調査を実施するとともに、指定管理による病院運営や民間活用による医療体制の維持等について先進事例の調査研究を行いました。

これらの調査結果等を総合的に勘案し、令和2年11月に、病院の再編統合により公立病院を整備して石岡地域の医療課題を解消していく方針を示し、関係機関や議会との協議を進めました。

しかし、令和3年に入り、コロナ禍も含め医療環境等が変化する中、計画の要であった医療機関の意向もあり、病院の再編統合（公立化）と病床の再配分による医療体制の整備は、実現不可能となりました。

このため、石岡地域医療計画を一から見直すこととし、令和3年度には、専門業者への委託による石岡市地域医療需要動向調査のほか、地域医療に係る市民ニーズ調査や市民満足度調査付随アンケートを実施しました。

その一方で、令和3年7月から「こども休日診療」を開設したほか、同年4月から全事業を休止していた石岡市医師会病院が市内の医療法人に譲渡され、令和4年2月に新病院が開設されるといった、医療提供体制の変化がありました。

こうした各調査の結果や医療提供体制の変化、市議会や市民の皆様からいただいた意見などを踏まえて、地域医療対策の取り組みの方針を示した「石岡地域医療計画改定（案）」を作成しました。

本案は、パブリックコメント実施を経て、令和4年度第1回石岡地方医療対策カンファレンスにおいて承認され、石岡地域医療計画を改定しました。

イ 改定のプロセス

(ア) 地域医療に係る調査

- ・石岡市地域医療需要動向調査
- ・地域医療に係る市民ニーズ調査
- ・市民満足度調査付随アンケート（地域医療関連）

(イ) パブリックコメント

令和4年3月18日～令和4年3月31日

(ウ) 石岡地方医療対策カンファレンス

	開催月日	議事
第1回	令和4年4月7日	石岡地域医療計画改定（案）について

第2章 石岡地域における医療の状況

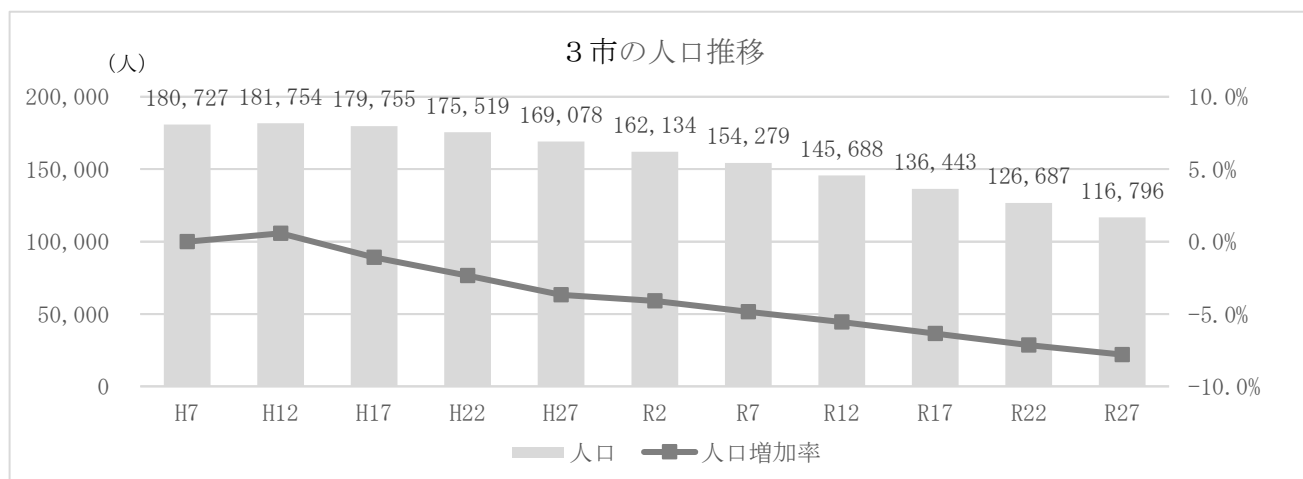
(1) 石岡地域の人口構造

① 前提とする考え方

本計画では、石岡市医師会管内である石岡市（石岡地区及び八郷地区）、かすみがうら市（千代田地区のみ）、小美玉市（玉里地区のみ）をあわせて石岡地域とします。患者数や病床等の将来的な動向を予測するには、人口統計に基づいた推計が必要です。人口推移については、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」とする。）と、石岡地域の各市の人口ビジョンに掲出されている、出生率や社会減が解消されることを前提とした推計の2つのパターンが存在しています。本計画における人口推移については、茨城県地域医療構想との整合性をとるため、社人研の人口推計を基本的な前提として分析を行います。また、社人研の人口推計が市町村ごとの算出であることから、人口構造の分析等には石岡地域ではなく、石岡地域が含まれる石岡市、かすみがうら市、小美玉市の3市の総計で分析を行います。

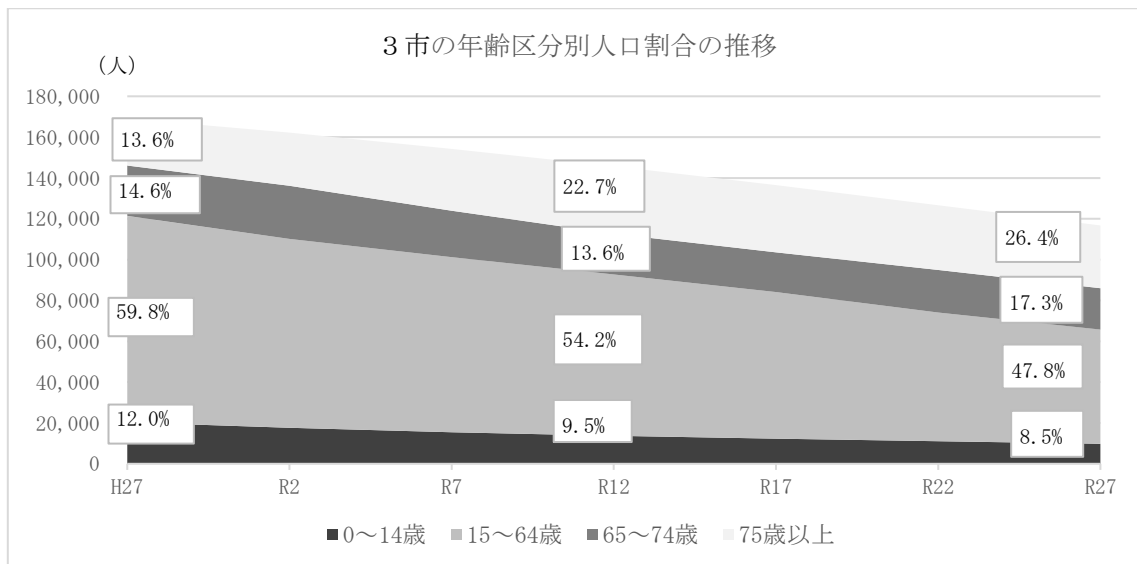
② 3市の人口推移

平成27年10月1日現在の人口は石岡市が76,020人、かすみがうら市が42,147人、小美玉市が50,911人で3市の総計で169,078人です。石岡地域全体でみると平成12年の181,754人（市町村合併前の旧石岡市・旧八郷町・旧千代田町・旧霞ヶ浦町・旧小川町・旧美野里町・旧玉里村の人口から算出）をピークに、以降減少を続けており、社人研の人口推計では今後も減少が続くと推測されています。



③ 年齢区分別人口の割合の推移

平成27年度の3市の年齢区分別人口構成は、15歳未満人口が20,303人（総人口の12.0%）、15～64歳人口が101,076人（同59.8%）、65歳以上人口は47,699人（同28.2%）です。将来の人口推計では、15歳未満人口及び15～64歳人口の割合は減少し続ける見込みですが、65歳以上人口の割合は増加し続け、令和27年には高齢者人口割合が40%を超えると推計されます。



(2) 周辺及び3市内の医療提供体制

① 3市の二次保健医療圏と医療機関の数

3市の二次保健医療圏については、石岡市とかすみがうら市は、土浦保健医療圏に属し、小美玉市は、水戸保健医療圏に属しています。

石岡地域には、病院が11件、有床診療所が8件、無床診療所が40件あります。

診療科で見ると、小児科を標ぼうする医療機関が11件。産科（産婦人科を含む。）を標ぼうする医療機関が2件です。なお、平成30年1月以降、分娩を行う医療機関はありません。

医療機関の数（令和3年4月1日現在）（表右は、上段が小児科、下段が産科を標ぼうする医療機関の数）

	石岡地域		石岡市		かすみがうら市		小美玉市		土浦保健医療圏		土浦市	
	総数	小児科 産科	総数	小児科 産科	総数	小児科 産科	総数	小児科 産科	総数	小児科 産科	総数	小児科 産科
病院	11	3 0	9	3 0	0	0 0	5	3 0	17	5 2	8	2 2
有床診療所	8	0 0	6	0 0	2	0 0	1	0 0	13	0 1	5	0 1
無床診療所	40	11 2	29	11 2	13	7 0	9	4 0	131	50 4	89	32 2

出典：茨城県保健福祉部医療局医療政策課 茨城県病院一覧及び茨城県一般診療所一覧

※産科は、産婦人科を含む。

② 石岡地域の医療機関の立地状況

石岡地域の医療機関の立地状況は、石岡地区に病院5件、診療所31件、八郷地区に病院4件、診療所4件、千代田地区に診療所9件、霞ヶ浦地区に診療所1件、玉里地区に病院2件、診療所3件です。

③ 病床の稼働状況

ア 3市の医療機関の病床数

3市の医療機関全体の許可病床数（療養・一般）は1,053床です。

病床機能別では、高度急性期0床、急性期305床、回復期72床、慢性期517床です。

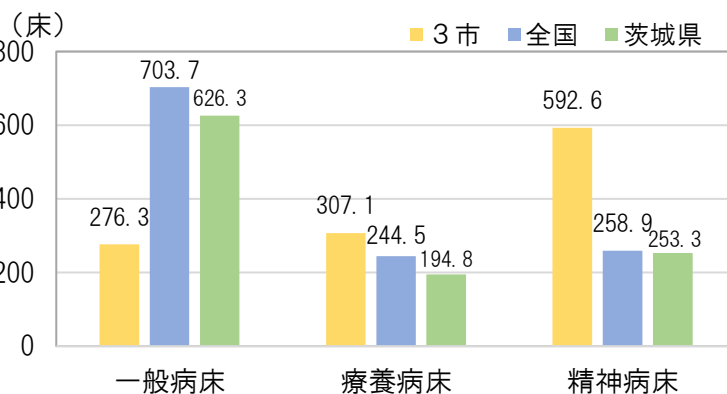
3市の医療機関の病床数

（単位：床）

医療機関名		所在地	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	全体
病院	山王台病院	石岡市		52				52
	豊後荘病院	石岡市				100		100
	山王台病院附属石岡共立病院 ※令和4年2月1日開院	石岡市			29	40	51	120
	石岡第一病院	石岡市		86	40			126
	八郷整形外科内科病院	石岡市		26	24	56		106
	久保田病院	石岡市				40		40
	旭台病院	石岡市				60		60
	小美玉市医療センター	小美玉市				41	39	80
	小川南病院	小美玉市				90		90
	美野里病院	小美玉市				111		111
	石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市		63				63
診療所	山王台病院附属眼科・内科クリニック	石岡市		19				19
	山王台病院附属第一クリニック	石岡市		19				19
	山王台病院附属第二クリニック	石岡市		19				19
	長尾眼科	石岡市		4				4
	仲田耳鼻咽喉科医院	石岡市		1				1
	府中クリニック	石岡市		14				14
	三輪眼科	かすみがうら市		2				2
	MED AGRI CLINIC かすみがうら	かすみがうら市				19		19
	小埜医院	小美玉市			8			8
合計			0	305	101	557	90	1,053

参照：令和2年度病床機能報告 ※その他、令和4年2月に開設した石岡共立病院について加筆。

イ 人口10万人当たりの病床数
3市の一般病床数は、全国、茨城県の水準を大きく下回っています。
療養及び精神病床は、全国、茨城県の水準を上回ります。
特に、精神病床は、突出して多くなっています。



出典：令和元年度医療施設調査

ウ 病院別・医療機能別の病床利用率

3市の病院における医療機能別の病床利用率（対稼働病床数）は、石岡循環器科脳神経外科病院 97.1%，山王台病院 96.6%と高くなっています。

石岡第一病院は、急性期 70.3%に留まりますが、回復期は 80.4%です。

八郷整形外科内科病院は、急性期 85.0%，回復期 91.9%と共に高い状況です。

慢性期病床は、多くの医療機関が 80%を超えています。

医療機関名	急性期		回復期		慢性期	
	病床数	病床利用率	病床数	病床利用率	病床数	病床利用率
山王台病院	52 床	96.6%				
豊後荘病院					100 床	82.0%
石岡第一病院	86 床	70.3%	40 床	80.4%		
八郷整形外科内科病院	26 床	85.0%	24 床	91.9%	56 床	89.0%
久保田病院					40 床	98.6%
旭台病院					60 床	98.6%
小美玉市医療センター					41 床	82.2%
小川南病院					90 床	70.9%
美野里病院					111 床	86.2%
石岡循環器科脳神経外科病院	63 床	97.1%				

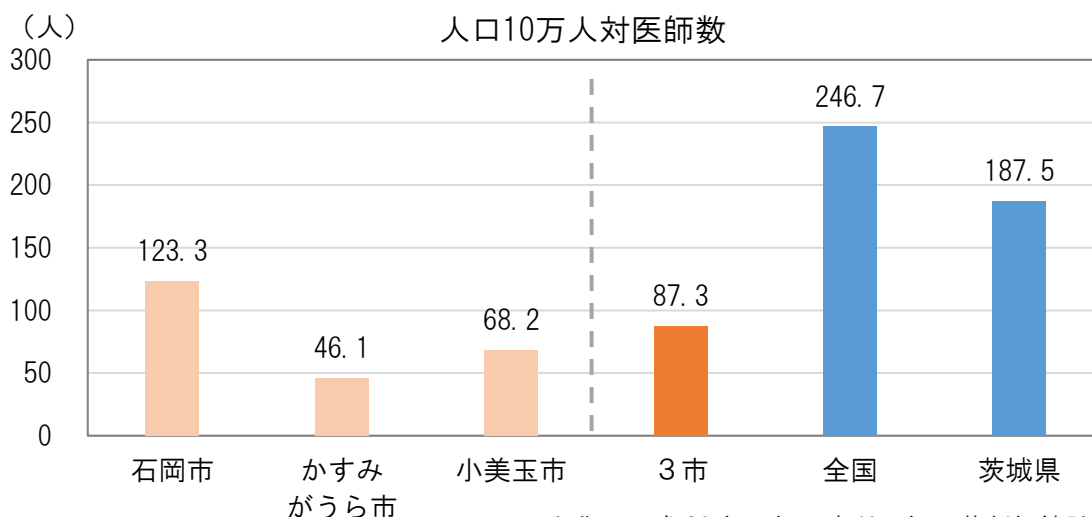
出典：令和2年度病床機能報告（令和元年7月1日から令和2年6月30日の1年間）

④ 医療従事者数の状況

ア 医師数の状況

人口 10 万人当たりの医師数は、茨城県は 187.5 人で、全国平均より少ない状況です。

3市においては、石岡市 123.3 人、かすみがうら市 46.1 人、小美玉市 68.2 人、3市平均 87.3 人と、いずれも全国平均の半数以下です。



出典：平成30年医師・歯科医師・薬剤師統計

3市の医師数の推移は、平成20年から平成30年の10年間を比較すると、石岡市では、94人から86人に減少し、小美玉市では、41人から31人に減少しています。かすみがうら市では、14人から17人に微増しています。

医師の高齢化などにより、今後も医師の減少が見込まれます。

医師数の推移

(単位：人)

		平成20年 (a)	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年 (b)	増減 (b-a)
石岡市	病院	52	55	53	51	51	46	△6
	診療所	42	41	41	40	38	40	△2
	合計	94	96	94	91	89	86	△8
かすみがうら市	病院	0	0	0	0	0	0	0
	診療所	14	16	18	16	17	17	3
	合計	14	16	18	16	17	17	3
小美玉市	病院	22	19	25	21	18	15	△7
	診療所	19	16	18	15	15	16	△3
	合計	41	35	43	36	33	31	△10

出典：茨城県医師・歯科医師・薬剤師調査（平成20～30年）

イ 歯科医師数、薬剤師数、看護師・准看護師数の状況

石岡市においては、人口10万人当たりの歯科医師数は、全国平均及び県平均の人数を上回っていますが、薬剤師数、看護師・准看護師数は、全国平均及び県平均の人数を下回っています。小美玉市、かすみがうら市においては、歯科医師数、薬剤師数、看護師・准看護師数共に全国平均及び県平均を下回っています。

医療従事者数（人口10万人対）の比較

(単位：人)

	全国	茨城県	土浦保健医療圏	土浦市	石岡市	かすみがうら市	小美玉市
歯科医師数	83.0	67.9	80.6	88.2	85.3	41.3	40.3
薬剤師数	246.2	229.5	209.5	274.7	173.2	53.5	86.6
看護師・ 准看護師数	1,204.7	1,012.1	1,118.1	1,452.4	952.8	281.9	628.3

出典：茨城県医師・歯科医師・薬剤師調査（平成30年）、厚生労働省衛生行政報告例（平成30年）

⑤ 救急体制について

ア 初期救急体制

- ・ 石岡地域の初期救急体制は、石岡市医師会病院にて、石岡市緊急診療（内科及び小児科）を実施してきましたが、医師不足等を理由に、令和2年6月末で休止しました。
- ・ 令和3年7月より、石岡第一病院内にて、こども休日診療（小児科の緊急診療）を開始しました。日曜・祝日・年末年始の午前9時から正午まで、主に、筑波大学附属病院所属の医師が診療を行います。
- ・ 外科の在宅当番医については、7つの医療機関の当番制により実施してきましたが、令和2年6月末で休止しました。
外科については、年末年始等を除き、外科を標ぼうする石岡市内のいずれかの医療機関が、通常診療を行っています。

イ 二次救急体制

二次救急体制については、石岡第一病院、山王台病院、石岡循環器科脳神経外科病院の3病院の輪番制により対応しています。

病院名	石岡第一病院	山王台病院	石岡循環器科 脳神経外科病院
許可 病床数	126床 (急性期86床,回復期40床)	52床 (急性期)	63床 (急性期)
常勤医	6人	15人	5人
診療科	内科, 外科, 整形外科 小児科, 耳鼻いんこう科 泌尿器科, 形成外科 小児皮膚科, 放射線科 歯科口腔外科, 美容外科 呼吸器科, 消化器科 循環器科, 肛門科	内科, 外科, 消化器外科 消化器内科, 気管食道外科 呼吸器外科, 呼吸器内科 循環器内科, 整形外科 脳神経内科, 肛門外科 皮膚科, 腎臓内科 人工透析内科, 乳腺外科 腫瘍外科, 内視鏡外科 内分泌内科, 泌尿器科 心臓血管外科, 歯科口腔外科 耳鼻いんこう科, 眼科 脳神経外科 リウマチ・膠原病内科 リハビリテーション科	脳神経外科, 心臓血管外科 循環器科 リハビリテーション科

参照：令和2年度病床機能報告，茨城県保健福祉部医療局医療政策課 茨城県病院一覧

ウ 三次救急体制

三次救急体制については、茨城県の救急医療体制により対応しています。

県内の三次救急医療機関は、高度救命救急センターが1施設（筑波大学附属病院）、救命救急センターが6施設（（株）日立製作所日立総合病院，水戸済生会総合病院，水戸医療センター，土浦協同病院，筑波メディカルセンター病院，茨城西南医療センター病院）です。

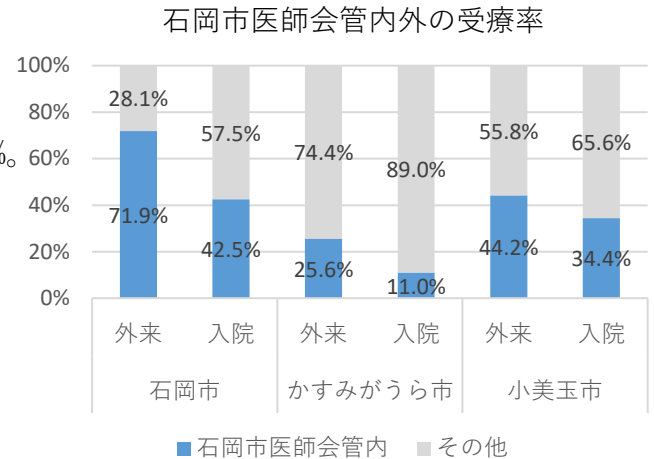
(3) 市民の受療動向

① 国保レセプトデータの分析

石岡市医師会管内の医療機関の受療率は、石岡市では、外来 71.9%、入院 42.5%。かすみがうら市では、外来 25.6%、入院 11.0%。小美玉市では、外来 44.2%、入院 34.4%です。

石岡市・小美玉市では、管内の利用が一定程度あり、かすみがうら市では、管外の利用が大半を占めています。

入院については、3市ともに5割超が管外へ流出しています。



※2020年(1年分) 国保レセプトデータより
※歯科・調剤・整骨等を除く

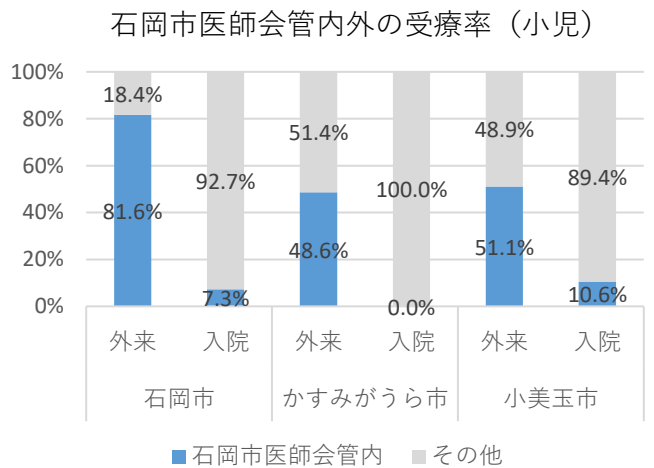
② 小児マル福レセプトデータの分析

小児の石岡市医師会管内の医療機関の受療率は、

石岡市では、外来 81.6%、入院 7.3%。かすみがうら市では、外来 48.6%、入院 0%。小美玉市では、外来 51.1%、入院 10.6%です。

外来については、3市ともに管内医療機関の利用が多くみられます。

入院については、3市ともに8割超が管外へ流出しています。



※2020年(1年分) 小児マル福データより

③ 妊産婦マル福レセプトデータの分析

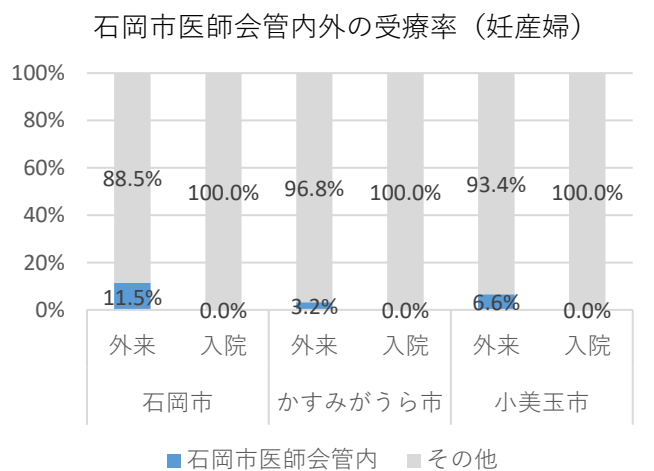
ア 妊産婦の受療率

妊産婦の石岡市医師会管内の医療機関の受療率は、

石岡市では、外来 11.5%、入院 0%。かすみがうら市では、外来 3.2%、入院 0%。小美玉市では、外来 6.6%、入院 0%です。

外来については、3市ともに9割程が管外の医療機関を利用しています。

入院については、入院は、管内に入院できる医療機関がないため、3市とも0%です。

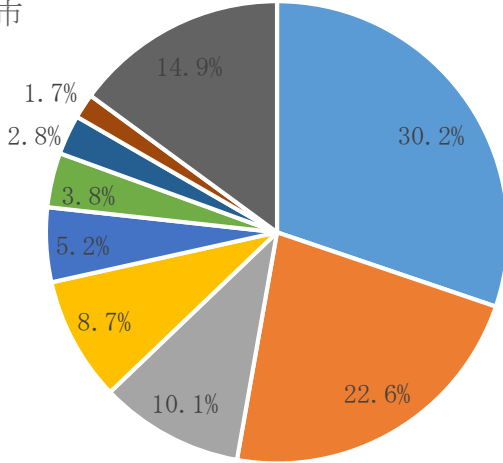


※2020年(1年分) 妊産婦マル福データより

イ 妊産婦の主な入院先の医療機関

妊産婦の主な入院先の医療機関は、石岡市では、根本産婦人科医院（笠間市）が最も多く、次いで土浦協同病院（土浦市）、霞ヶ浦医療センター（土浦市）へ入院しています。

石岡市

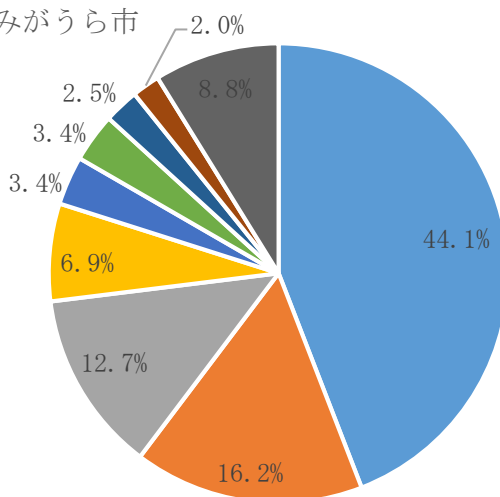


医療機関名	割合
根本産婦人科医院（笠間市）	30.2%
土浦協同病院（土浦市）	22.6%
霞ヶ浦医療センター（土浦市）	10.1%
茨城県立中央病院（笠間市）	8.7%
なないろレディースクリニック（つくば市）	5.2%
筑波大学附属病院（つくば市）	3.8%
柴田マタニティクリニック（土浦市）	2.8%
植野産婦人科医院（水戸市）	1.7%
その他	14.9%

※2020年（1年分） 妊産婦マル福データより

かすみがうら市では、土浦協同病院（土浦市）が最も多く、次いで、霞ヶ浦医療センター（土浦市）、柴田マタニティクリニック（土浦市）へ入院しています。

かすみがうら市

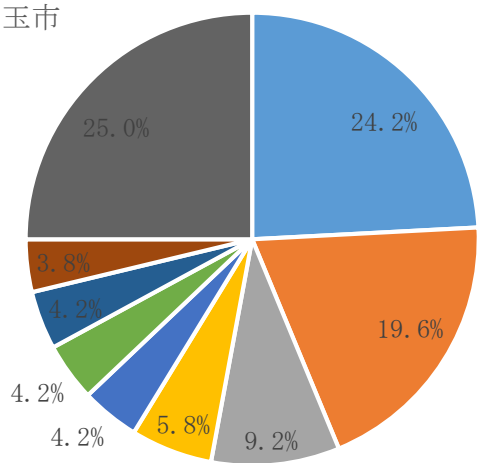


医療機関名	割合
土浦協同病院（土浦市）	44.1%
霞ヶ浦医療センター（土浦市）	16.2%
柴田マタニティクリニック（土浦市）	12.7%
なないろレディースクリニック（つくば市）	6.9%
まつばらウィメンズクリニック（稲敷郡阿見町）	3.4%
加瀬病院（ひたちなか市）	3.4%
筑波大学附属病院（つくば市）	2.5%
根本産婦人科医院（笠間市）	2.0%
その他	8.8%

※2020年（1年分） 妊産婦マル福データより

小美玉市では、根本産婦人科医院（笠間市）が最も多く、次いで、土浦協同病院（土浦市）、茨城県立中央病院（笠間市）へ入院しています。

小美玉市

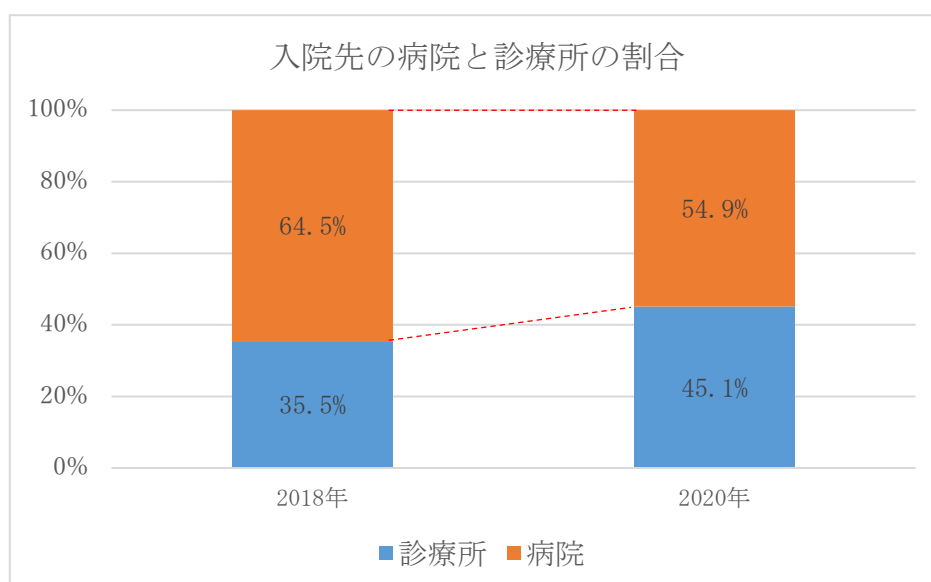


医療機関名	割合
根本産婦人科医院（笠間市）	24.2%
土浦協同病院（土浦市）	19.6%
茨城県立中央病院（笠間市）	9.2%
霞ヶ浦医療センター（土浦市）	5.8%
水戸済生会総合病院（水戸市）	4.2%
植野産婦人科医院（水戸市）	4.2%
江幡産婦人科・内科病院（水戸市）	4.2%
山縣産婦人科（水戸市）	3.8%
その他	25.0%

※2020年（1年分） 妊産婦マル福データより

ウ 妊産婦の入院先の病院と診療所の割合

石岡市の入院先の医療機関の病院と診療所の割合をみると、2018年は、病院64.5%、診療所35.5%でしたが、2020年は、病院54.9%、診療所45.1%と、診療所の割合が9.6%増加しており、入院先に診療所を選択する方の割合が増えています。



※2018年、2020年（ともに1年分） 妊産婦マル福データより

(参考) 妊産婦の入院先医療機関の市町村別の割合

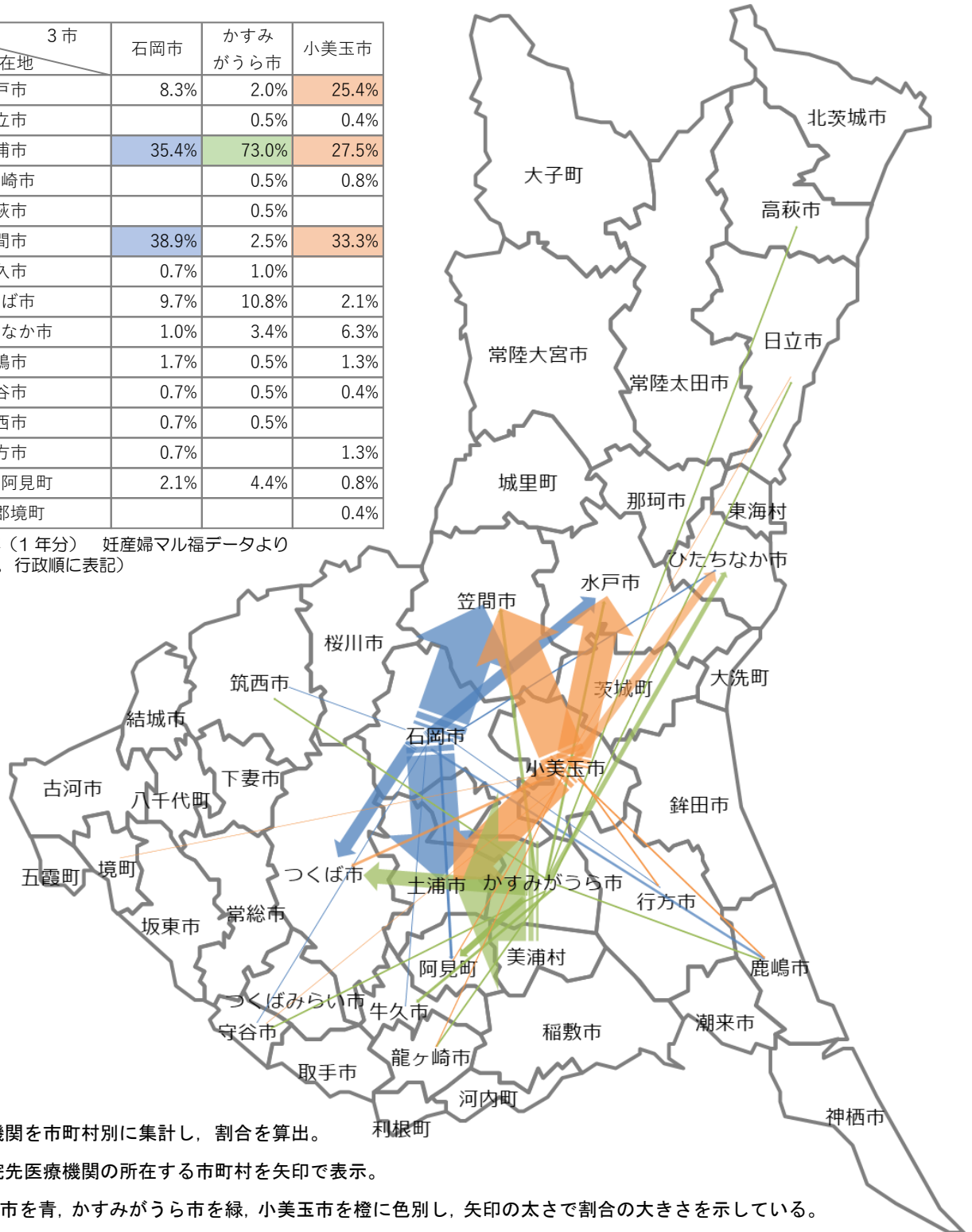
石岡市では、土浦市、笠間市の医療機関への入院が多く、次いで、つくば市、水戸市となっています。

かすみがうら市では、土浦市の医療機関への入院が突出して多く、次いで、つくば市となっています。

小美玉市では、水戸市、土浦市、笠間市の医療機関への入院が多くなっています。

医療機関の所在地	3市	石岡市	かすみがうら市	小美玉市
水戸市		8.3%	2.0%	25.4%
日立市			0.5%	0.4%
土浦市		35.4%	73.0%	27.5%
龍ヶ崎市			0.5%	0.8%
高萩市			0.5%	
笠間市		38.9%	2.5%	33.3%
牛久市		0.7%	1.0%	
つくば市		9.7%	10.8%	2.1%
ひたちなか市		1.0%	3.4%	6.3%
鹿嶋市		1.7%	0.5%	1.3%
守谷市		0.7%	0.5%	0.4%
筑西市		0.7%	0.5%	
行方市		0.7%		1.3%
稲敷郡阿見町		2.1%	4.4%	0.8%
猿島郡境町				0.4%

※2020年(1年分) 妊産婦マル福データより
(市町村は、行政順に表記)



【凡例】

- ・入院先医療機関を市町村別に集計し、割合を算出。
- ・3市から入院先医療機関の所在する市町村を矢印で表示。
矢印は、石岡市を青、かすみがうら市を緑、小美玉市を橙に色別し、矢印の太さで割合の大きさを示している。

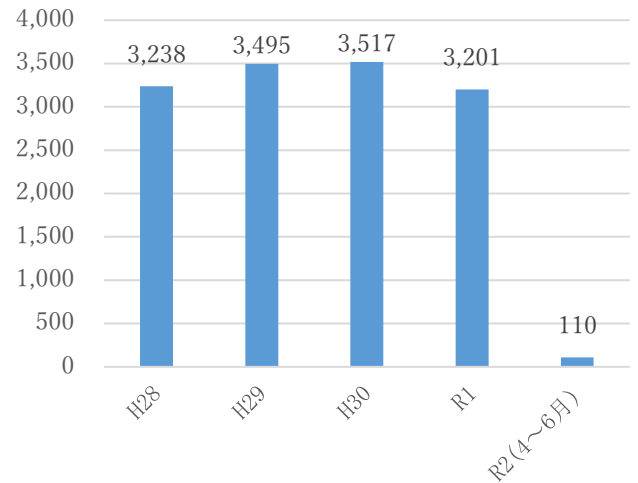
(4) 救急搬送等の実績

① 初期救急の実績

ア 石岡市緊急診療（内科及び小児科）

石岡市緊急診療の患者数は、平成28年度3,238人、平成29年度3,495人、平成30年度3,517人、令和元年度3,201人と毎年同程度の利用がありましたが、令和2年6月末に休止したことから、令和2年度は、110人の利用に留まりました。

石岡市緊急診療の患者数の推移（人）

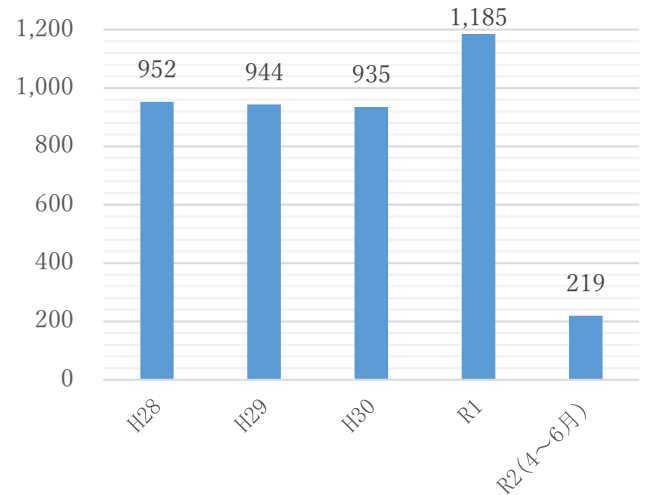


※各年度の石岡市緊急診療 実績報告より

イ 在宅当番医（外科）

休日の在宅当番医（外科）の患者数は、平成28年度952人、平成29年度944人、平成30年度935人、令和元年度1,185人と毎年同程度の利用がありましたが、令和2年6月末に休止したことから、令和2年度は、219人の利用に留まりました。

在宅当番医（外科）の患者数の推移（人）

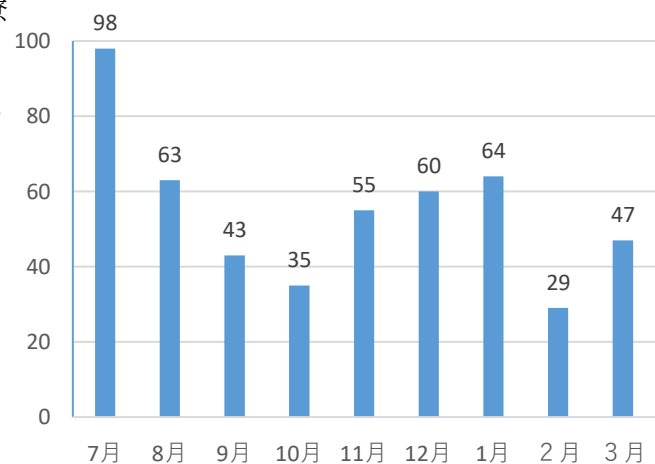


※各年度の在宅当番医（外科） 実績報告より

ウ こども休日診療（小児科の緊急診療）

令和3年7月より開設したこども休日診療は、開設月の98人から、8月63人、9月43人、10月35人、11月55人、12月60人、1月64人、2月29人、3月47人の利用がありました。

こども休日診療の利用実績（人）



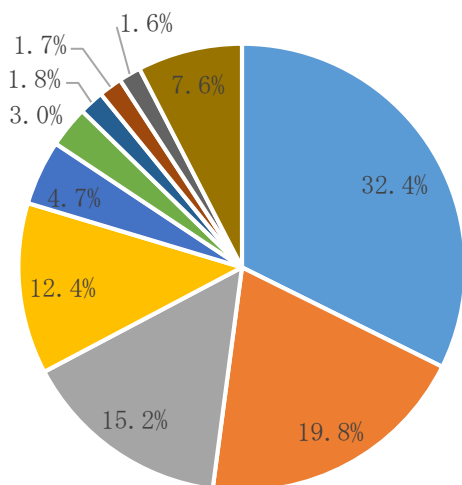
※令和3年度こども休日診療 実施状況報告より

② 救急搬送の実績（令和2年（2020年））

ア 3市の救急搬送実績

石岡市消防本部の搬送実績は、土浦協同病院（土浦市）へ最も多く搬送されています。

石岡市医師会管内では、山王台病院（石岡市）が最も多く、次いで、石岡循環器科脳神経外科病院（小美玉市）へ搬送されています。また、全体の47.4%が石岡市医師会管外の医療機関へ搬送されています。

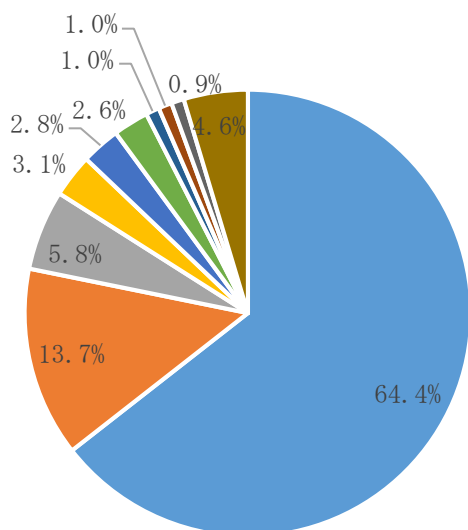


医療機関名	割合
土浦協同病院（土浦市）	32.4%
山王台病院（石岡市）	19.8%
石岡循環器科脳神経外科病院（小美玉市）	15.2%
石岡第一病院（石岡市）	12.4%
茨城県立中央病院（笠間市）	4.7%
八郷整形外科内科病院（石岡市）	3.0%
神立病院（土浦市）	1.8%
筑波大学附属病院（つくば市）	1.7%
筑波メディカルセンター病院（つくば市）	1.6%
その他	7.6%

※2020年（1年分） 令和2年 搬送人員調べより

かすみがうら市消防本部の搬送実績は、土浦協同病院（土浦市）へ最も多く搬送されています。

石岡市医師会管内では、山王台病院（石岡市）が最も多く、次いで石岡循環器科脳神経外科病院（小美玉市）へ搬送されています。また、全体の92.9%が石岡市医師会管外の医療機関へ搬送されています。

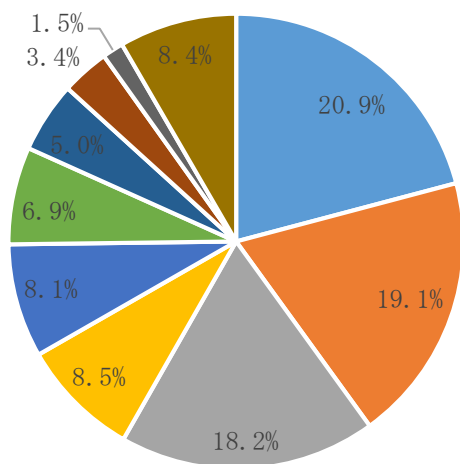


医療機関名	割合
土浦協同病院（土浦市）	64.4%
神立病院（土浦市）	13.7%
霞ヶ浦医療センター（土浦市）	5.8%
山王台病院（石岡市）	3.1%
石岡循環器科脳神経外科病院（小美玉市）	2.8%
東京医科大学茨城医療センター（稲敷郡阿見町）	2.6%
筑波大学附属病院（つくば市）	1.0%
筑波メディカルセンター病院（つくば市）	1.0%
石岡第一病院（石岡市）	0.9%
その他	4.6%

※2020年（1年分） 令和2年 搬送人員調べより

小美玉市消防本部の搬送実績は、土浦協同病院（土浦市）へ最も多く搬送されています。

石岡市医師会管内では、石岡循環器科脳神経外科病院（小美玉市）が最も多く、次いで山王台病院（石岡市）へ搬送されています。また、全体の 51.8%が石岡市医師会管外の医療機関へ搬送されています。



医療機関名	割合
土浦協同病院（土浦市）	20.9%
石岡循環器科脳神経外科病院（小美玉市）	19.1%
山王台病院（石岡市）	18.2%
茨城県立中央病院（笠間市）	8.5%
水戸医療センター（東茨城郡茨城町）	8.1%
石岡第一病院（石岡市）	6.9%
小美玉市医療センター（小美玉市）	5.0%
八郷整形外科内科病院（石岡市）	3.4%
茨城県立こども病院（水戸市）	1.5%
その他	8.4%

※2020年（1年分） 令和2年 搬送人員調べより

イ 三次救急医療機関への傷病程度別搬送実績

三次救急医療機関への搬送のうち、軽症患者の割合は、石岡市消防本部 47.3%，かすみがうら市消防本部 53.7%，小美玉市消防本部 43.9%，3市合計では 49.2%です。

	死亡		重症		中等症		軽症		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
石岡市消防本部	10	0.9%	103	9.6%	450	42.1%	506	47.3%	1,069
かすみがうら市消防本部	31	2.8%	91	8.3%	385	35.2%	588	53.7%	1,095
小美玉市消防本部	12	2.2%	70	12.7%	227	41.2%	242	43.9%	551
合計	53	2.0%	264	9.7%	1,062	39.1%	1,336	49.2%	2,715

※2020年（1年分） 令和2年 搬送人員調べより

※ 県内の三次救急医療機関は、高度救命救急センターが1施設（筑波大学附属病院）、救命救急センターが6施設（(株)日立製作所日立総合病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院、茨城西南医療センター病院）です。

第3章 石岡地域に必要な医療提供体制

本計画では、策定当初、石岡地域の医療課題を以下のとおり整理しました。

(1) 医療体制について

- ・ 医師とコメディカルの不足、及び医師の高齢化により、緊急診療の継続が困難
- ・ 分娩できる医療機関がない
- ・ 小児科の入院受療率が低い
- ・ 市街地及びその周辺部において、医療機関へのアクセスが難しい地域がある
- ・ 地域医療構想において、回復期病床が不足することが見込まれている

(2) 受療動向について

- ・ 入院は、5割超が石岡地域から流出し、地域内での受入が十分にできていない
- ・ 現在は、石岡地域の病院で受療できている外来診療についても、地域での受け皿が不足することが想定される

(3) 救急医療について

- ・ 石岡地域での二次救急の受入が十分にできていない
- ・ 三次救急からの回復期の受け皿が不足している
- ・ 5～10年先の高齢者の患者の増加を見据えた救急体制となっていない
- ・ 夜間対応が可能な医師の確保が困難
- ・ 小児救急を市内で受け入れられる体制がない

本改定では、令和3年度に実施した各調査の結果等を踏まえ、石岡地域に必要な医療提供体制を改めて整理しました。

石岡地域に必要な医療提供体制

- ① 分娩できる施設の開設
- ② 小児医療の充実
- ③ 初期救急、二次救急体制の充実
- ④ 急性期医療を終えた患者の受け皿の確保(回復期病床の充実、介護医療連携の強化等)

第4章 必要な医療提供体制の構築に向けた取り組み

(1) 計画の基本理念

3市の総人口は減少している一方で、高齢者の人口の割合は今後も増えると予測されています。こういった中で、医師の高齢化は年々進み、今後医師数や医療施設数の減少は加速することが見込まれています。こうしたことから、地域の市民への医療提供体制の再構築を早急に進めなければならない状況にあります。

そこで、令和元年(2019年)、「持続可能な医療体制で誰もが安心して暮らせる石岡地域」を基本理念として、本計画を策定しました。

基本理念 持続可能な医療体制で誰もが安心して暮らせる石岡地域

時期を同じくして、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な感染爆発が起こり、私たちの生活や医療提供体制にも多大な影響をもたらしていますが、このような状況においても、住み慣れたまちで将来にわたり適切な医療を受けることができるよう、本計画に基づき、国及び茨城県の方角性、地域の現状やニーズを踏まえた取り組みを行っていきます。

(2) 基本理念の実現のために必要な医療対策

基本理念の実現のために必要な医療対策について、以下のとおり例示します。

これらの対策は、市単独または医療機関単独での解決は困難であり、石岡地域全体で取り組む必要があります。そのため、石岡市医師会、医療機関及び行政が各々の状況を踏まえ、地域の医療機関の良好な連携体制を維持することに留意しながら、地域医療に最大限貢献できるように取り組みます。

基本理念の実現のために必要な医療対策

- ・ 医療資源の集約化や医師を呼び込める医療機関(中核病院等)の整備
- ・ 病床機能の転換
- ・ 新規診療所、助産院等の誘致、開業支援(資金援助、住宅補助等)
- ・ 入院受療率向上を目指した小児科の充実
- ・ 医療機関の機能等に応じた役割分担の強化
- ・ 施設や医療機器の維持、更新費用の補助
- ・ 入院施設のある医療機関の状況等の情報共有ができるような仕組みづくり
- ・ 医療機関への交通手段の確保(費用補助やオンデマンドタクシー^{*1}の整備等)
- ・ 介護老人保健施設等と連携し、速やかな退院調整等ができる体制の構築
- ・ 産科の新設
- ・ 医療資源の偏在や将来の外来診療の受け皿となるような公的診療所の開設
- ・ 在宅診療クリニック^{*2}による訪問診療や訪問看護^{*3}の充実
- ・ マンパワー確保のための補助(通勤、住宅、子育て支援、保育施設の充実等)

- ・ 小児科医の確保
- ・ 医師に対する様々なPR活動
- ・ 大学等への要望活動
- ・ 研修環境の充実（専門医制度^{※4}認定施設の確保，指導者の充実等）
- ・ 寄附講座^{※5}等による医師確保
- ・ 産科医の確保
- ・ 石岡地域卒の奨学金制度創設の検討
- ・ 石岡地域での勤務医が一定期間希望する病院等で勤務できるような研修体制の整備
- ・ 小児救急体制の拡充
- ・ 初期救急^{※6}体制拡充のための補助等
- ・ 二次救急体制拡充のための補助等（実績等に応じた補助も含む。）
- ・ ICT等を活用した医療相談（初期救急）

※1 オンデマンドタクシー：利用者の予約を集約して運行する乗り合いのタクシー。

※2 在宅診療クリニック：医師が定期的に患者のもとを訪れる「訪問診療」や具合が悪くなった時に患者の依頼に基づいて医師が自宅まで訪ねる「往診」などを行う診療所。

※3 訪問看護：看護の専門職（看護師や保健師，助産師等）が定期的に患者のもとを訪れてケアを行うもの。

※4 専門医制度：医学部を卒業し，2年間の初期臨床研修修了後，専門医を目指して研修を行う制度。2018年4月より，基本領域専門医と，さらに専門性に特化したサブスペシャリティ領域専門医の二段階制となった新制度が実施されている。

※5 寄附講座：民間企業や行政組織などから大学等の研究機関に寄附された資金等や人材を活用し，講座を設置し研究教育を行うこと。病院においては，寄附講座を設置し，教育機関から医師を派遣してもらう。

※6 初期救急：軽症患者（手術や入院治療を必要としない患者）に対する救急医療。

(3) 行政が担う対策に係る取り組み

ア 取り組み方針

行政が担う対策に係る取り組みは、「1. 体制の維持, 2. 体制の発展, 3. 人材の育成, 4. 医療ニーズの把握と情報発信」の4本柱で展開します。

1. 体制の維持

石岡地域における医療体制を将来にわたり維持していくための支援を行います。

2. 体制の発展

石岡地域のより良い医療体制の構築に向けて、新たな支援策の展開を図ります。

3. 人材の育成

石岡地域の医療機関に従事する医師や医療スタッフを育成するための取り組みを行います。

4. 医療ニーズの把握と情報発信

少子高齢化や新興感染症の拡大など、医療を取りまく環境の変化に柔軟かつ適切に対応するための取り組みを行います。

イ 取り組みの例

取り組み方針	取り組みの例
1. 体制の維持	<ul style="list-style-type: none">・ 病院群輪番制への補助・ <u>こども休日診療の実施</u>・ 在宅当番医制（歯科）の実施・ 県や近隣市町村との連携
2. 体制の発展	<ul style="list-style-type: none">・ <u>緊急診療（内科）の開設</u>・ <u>分娩を行える施設の開設支援</u>・ 在宅医療への支援・ 医師や医療スタッフ確保への支援
3. 人材の育成	<ul style="list-style-type: none">・ <u>石岡地域出身の医師や医療従事者による学生への出前授業等の実施</u>
4. 医療ニーズの把握と情報発信	<ul style="list-style-type: none">・ 地域医療ご意見箱の設置（市ホームページ内など）・ <u>市報や市ホームページによる定期的な情報発信</u>・ 医療に関するシンポジウムの開催

ウ 重点的に取り組む施策

第3章で整理した医療提供体制の構築に向け、上記イの取り組みのうち、こども休日診療の実施、緊急診療（内科）の開設、分娩を行える施設の開設支援、石岡地域出身の医師や医療従事者による学生への出前授業等の実施、市報や市ホームページによる定期的な情報発信について、重点的に取り組みます。

資料編

病院配置状況（令和3年4月1日現在）※令和4年2月開院の山王台病院附属石岡共立病院を加筆。

所在地	病院名	許可病床	標ぼう診療科
石岡市	1 医療法人幕内会 山王台病院附属石岡共立病院	120	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 小児科, 外科, 呼吸器外科, 乳腺外科, 消化器外科, 泌尿器科, 整形外科, 婦人科, リハビリテーション科, 放射線科
	2 医療法人幕内会 山王台病院	52	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 皮膚科, 外科, 呼吸器外科, 心臓血管外科, 乳腺外科, 気管食道外科, 消化器外科, 泌尿器科, 肛門外科, 脳神経外科, 整形外科, 眼科, 耳鼻いんこう科, リハビリテーション科, 歯科口腔外科, 人工透析内科, 内視鏡外科, 腫瘍外科, 内分泌内科, 脳神経内科, リウマチ・膠原病内科
	3 公益社団法人地域医療振興協会 石岡第一病院	126	内科, 小児科, 外科, 泌尿器科, 整形外科, 形成外科, 美容外科, 耳鼻いんこう科, 放射線科, 呼吸器科, 消化器科, 循環器科, 肛門科, 小児皮膚科
	4 医療法人八郷病院 八郷整形外科内科病院	106	内科, 外科, 整形外科, リハビリテーション科, 放射線科, 消化器科
	5 社会福祉法人樺会 旭台病院	60	内科, 神経内科, 皮膚科, 小児科
	6 医療法人明風会 久保田病院	40	内科, 皮膚科, 整形外科, リハビリテーション科
	7 医療法人新生会 豊後荘病院	493	内科, 消化器内科, 精神科, 心療内科, リハビリテーション科, 歯科, 歯科口腔外科, 神経科
	8 医療法人滝田会 丸山荘病院	194	精神科, 神経科
	9 医療法人社団金山会 桜井病院	95	精神科, 神経科
小美玉市	10 医療法人財団古宿会 小美玉市医療センター	80	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 皮膚科, 小児科, 外科, 消化器外科, 泌尿器科, 脳神経外科, 整形外科, 眼科, 耳鼻いんこう科, リハビリテーション科, リウマチ・膠原病内科, 人工透析内科
	11 医療法人白帆会 小川南病院	90	内科, 皮膚科, 小児科, 精神科, 整形外科, 形成外科, リハビリテーション科, 放射線科, 呼吸器科, 消化器科, 循環器科
	12 医療法人社団正信会 美野里病院	111	内科, 皮膚科, 外科, 泌尿器科, 脳神経外科, 整形外科, リハビリテーション科, 消化器科, 肛門科
	13 医療法人石岡脳神経外科病院 石岡循環器科脳神経外科病院	63	心臓血管外科, 脳神経外科, リハビリテーション科, 循環器科
	14 医療法人聖和会 つくば病院	281	内科, 精神科, 神経科
土浦市	15 茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院	800	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 皮膚科, リウマチ科, 小児科, 呼吸器外科, 心臓血管外科, 乳腺外科, 消化器外科, 泌尿器科, 脳神経外科, 整形外科, 形成外科, 眼科, 耳鼻いんこう科, 小児外科, 産婦人科, リハビリテーション科, 麻酔科, 病理診断科, 救急科, 歯科口腔外科, 代謝・内分泌内科, 人工透析内科, 小児科(新生児), 放射線診断科, 放射線治療科, 血管外科, 脳神経内科
	16 独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター	250	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 神経内科, 糖尿病内科, 血液内科, 皮膚科, 小児科, 外科, 呼吸器外科, 心臓血管外科, 乳腺外科, 泌尿器科, 整形外科, 形成外科, 眼科, 耳鼻いんこう科, 産婦人科, リハビリテーション科, 放射線科, 麻酔科, 病理診断科, 歯科, 歯科口腔外科
	17 医療法人社団青洲会 神立病院	160	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 神経内科, 皮膚科, 外科, 消化器外科, 肛門外科, 脳神経外科, 整形外科, 眼科, リハビリテーション科, 放射線科, 麻酔科, 血管外科, 循環器科, ペインクリニック外科
	18 医療法人財団 県南病院	83	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 外科, 脳神経外科, 整形外科, リハビリテーション科, 麻酔科
	19 医療法人慈厚会 野上病院	28	内科, 外科, 気管食道外科, 整形外科, 呼吸器科, 消化器科, 循環器科, 肛門科, 緩和ケア内科
	20 社会医療法人若竹会 都和病院	42	内科, リウマチ科, 整形外科, リハビリテーション科
	21 医療法人霞水会 土浦厚生病院	280	内科, 精神科, 心療内科
	22 医療法人社団 筑波東病院	206	内科, 精神科, 神経科

出典：茨城県保健福祉部医療局医療政策課 茨城県病院一覧

石岡市・小美玉市・土浦市の病院の医療機能比較

《石岡市》

○：機能あり 空欄：機能なし		石岡市 医師会 病院 (※)	山王 病院	石岡 第一 病院	八郷 整形外科 病院	旭 病院	久保 病院	豊後 病院	丸山 病院	桜井 病院
がん	茨城県地域がんセンター									
	地域がん診療連携拠点病院									
	茨城県がん診療指定病院									
脳卒中	急性期の医療提供									
	回復期リハビリ提供				○					
急性心 筋梗塞	急性期の医療提供									
	回復期リハビリ提供				○					
糖尿病	血糖コントロール困難者への治療提供									
	急性合併症の治療提供		○	○						
	糖尿病網膜症の治療提供									
	糖尿病性腎症の治療提供				○					
	末期腎不全の治療提供		○							
精神 疾患	入院医療の提供（認知症の入院対応含む。）						○	○	○	
	認知症疾患医療センター						○			
救急	救命救急センター									
	救急告示病院	○	○	○	○					
災害	災害拠点病院									
	DMA Tを有する医療機関									
へき地	へき地医療拠点病院			○						
周産期	総合周産期母子医療センター									
小児	小児救急医療拠点病院									

※ 令和3年4月から休止

出典：第7次茨城県保健医療計画

《小美玉市》

○：機能あり 空欄：機能なし		小美玉市 医療センター	小川南病院	美野里病院	石岡循環器科 脳神経外科 病院	つくば病院
がん	茨城県地域がんセンター					
	地域がん診療連携拠点病院					
	茨城県がん診療指定病院					
脳卒中	急性期の医療提供				○	
	回復期リハビリ提供					
急性心 筋梗塞	急性期の医療提供				○	
	回復期リハビリ提供					
糖尿病	血糖コントロール困難者への治療提供					
	急性合併症の治療提供					
	糖尿病網膜症の治療提供					
	糖尿病性腎症の治療提供					
	末期腎不全の治療提供					
精神 疾患	入院医療の提供（認知症の入院対応含む。）					○
	認知症疾患医療センター					
救急	救命救急センター					
	救急告示病院	○			○	
災害	災害拠点病院					
	DMA Tを有する医療機関					
へき地	へき地医療拠点病院					
周産期	総合周産期母子医療センター					
小児	小児救急医療拠点病院					

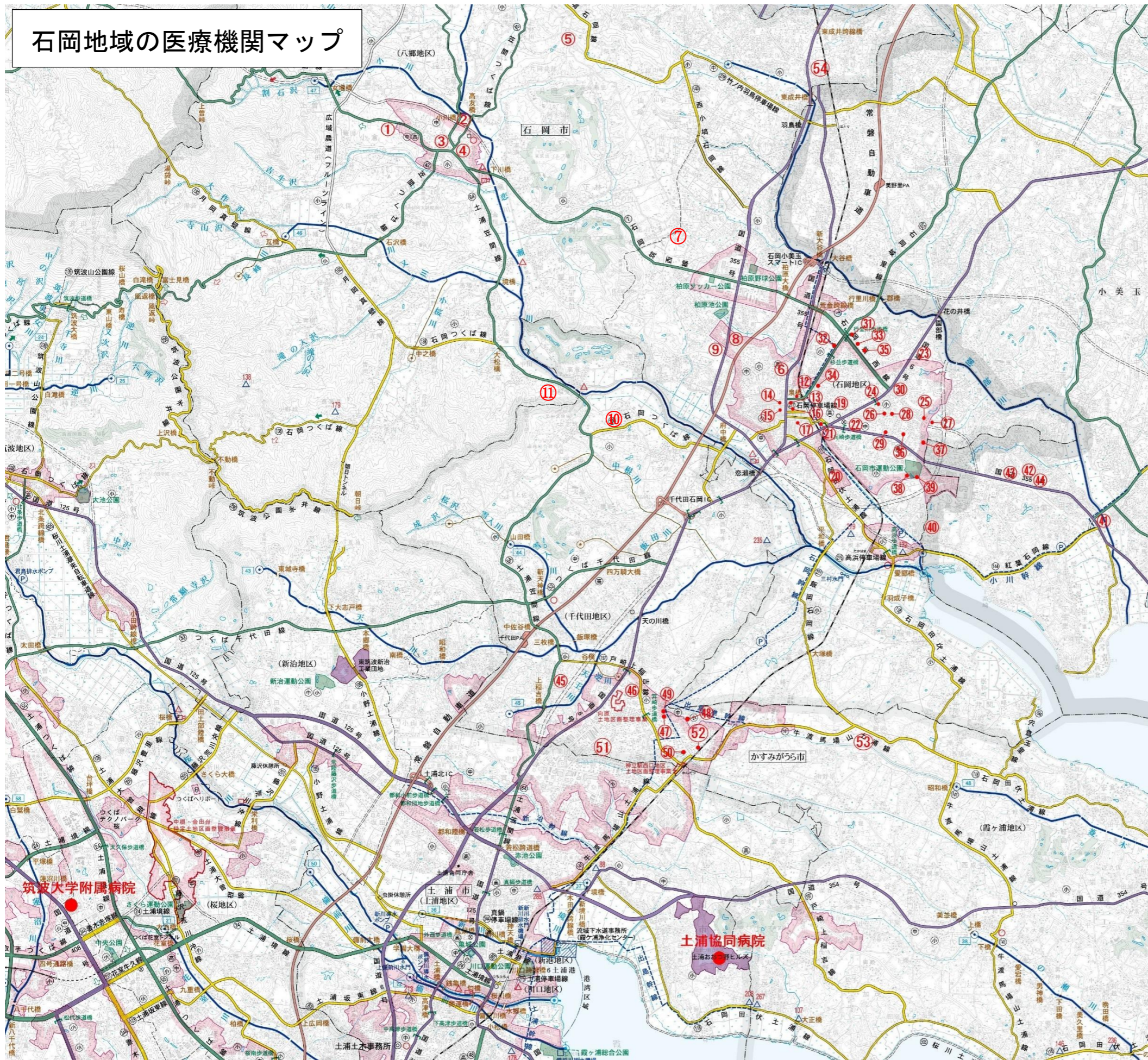
出典：第7次茨城県保健医療計画

《土浦市》

○：機能あり 空欄：機能なし		土浦協病院	浦同院	霞ヶ浦医療センター	神立院	県病	南院	野上院	都病	和院	土厚病	浦生院	筑波東院
がん	茨城県地域がんセンター	○											
	地域がん診療連携拠点病院	○											
	茨城県がん診療指定病院												
脳卒中	急性期の医療提供	○	○			○							
	回復期リハビリ提供	○	○		○	○							
急性心筋梗塞	急性期の医療提供	○	○										
	回復期リハビリ提供	○	○										
糖尿病	血糖コントロール困難者への治療提供	○											
	急性合併症の治療提供	○											
	糖尿病網膜症の治療提供	○	○										
	糖尿病性腎症の治療提供	○	○										
	末期腎不全の治療提供	○			○								
精神疾患	入院医療の提供（認知症の入院対応含む。）										○		○
	認知症疾患医療センター												
救急	救命救急センター	○											
	救急告示病院	○	○	○	○								
災害	災害拠点病院	○											
	DMA Tを有する医療機関	○											
へき地	へき地医療拠点病院												
周産期	総合周産期母子医療センター	○											
小児	小児救急医療拠点病院	○											

出典：第7次茨城県保健医療計画

石岡地域の医療機関マップ



番号	医療機関名
1	グリーンクリニック
2	丸山荘病院
3	吉川医院
4	江畑医院
5	豊後荘病院
6	府中クリニック
7	山王台病院附属石岡共立病院
8	田中クリニック
9	藤井内科クリニック
10	川俣医院
11	桜井病院
12	関クリニック
13	石岡眼科診療所
14	滝田整形外科
15	松葉産婦人科
16	岡崎内科医院
17	石岡診療所
18	石岡整形クリニック (令和3年12月31日廃止)
19	芹澤医院
20	富田産婦人科医院
21	ごとう内科
22	山王台病院
23	石岡ひかりクリニック
24	石渡眼科
25	石岡・平本皮膚科医院
26	羽成耳鼻咽喉科医院
27	仲田耳鼻咽喉科医院
28	吉田小児科医院
29	桧山医院
30	旭台病院
31	久保田病院
32	杉並クリニック
33	長尾眼科
34	柏木医院
35	石岡第一病院
36	金丸医院
37	渡辺クリニック
38	渡辺内科
39	友部整形外科
40	つくば病院
41	小埜医院
42	やまぐち医院
43	石岡循環器科脳神経外科病院
44	大津内科クリニック
45	MED AGRICLINIC かすみがうら
46	太田医院
47	大和医院 (令和3年6月2日廃止)
48	吉田茂耳耳鼻咽喉科
49	三輪眼科
50	白井こどもクリニック
51	桜井皮膚科医院
52	高木医院
53	酒井医院
54	八郷整形外科内科病院

令和2年度救急搬送実績

石岡市	所在地	死亡	重症	中等症	軽症等	計	割合
土浦協同病院	土浦市	9	79	381	471	940	32.4%
山王台病院	石岡市	21	49	187	316	573	19.8%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	9	38	201	192	440	15.2%
石岡第一病院	石岡市	12	38	152	158	360	12.4%
茨城県立中央病院	笠間市	4	14	65	53	136	4.7%
八郷整形外科内科病院	石岡市	0	26	18	42	86	3.0%
神立病院	土浦市	0	1	26	24	51	1.8%
筑波大学附属病院	つくば市	0	4	23	21	48	1.7%
筑波メディカルセンター病院	つくば市	1	10	23	11	45	1.6%
石岡市医師会病院	石岡市	2	2	11	10	25	0.9%
その他		3	30	104	58	195	6.7%
計		61	291	1,191	1,356	2,899	100.0%

かすみがうら市	所在地	死亡	重症	中等症	軽症等	計	割合
土浦協同病院	土浦市	31	84	363	577	1,055	65.0%
神立病院	土浦市	1	12	106	106	225	13.9%
霞ヶ浦医療センター	土浦市	1	1	45	48	95	5.9%
山王台病院	石岡市	0	4	9	38	51	3.1%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	0	2	26	18	46	2.8%
東京医科大学茨城医療センター	稲敷郡阿見町	1	3	18	20	42	2.6%
筑波大学附属病院	つくば市	0	3	6	7	16	1.0%
石岡第一病院	石岡市	0	2	3	10	15	0.9%
石岡市医師会病院	石岡市	0	0	0	1	1	0.1%
その他		0	9	40	27	76	4.7%
計		34	120	616	852	1,622	100.0%

小美玉市	所在地	死亡	重症	中等症	軽症等	計	割合
土浦協同病院	土浦市	11	38	135	178	362	20.9%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	17	27	101	187	332	19.1%
山王台病院	石岡市	10	18	114	174	316	18.2%
茨城県立中央病院	笠間市	4	5	65	73	147	8.5%
水戸医療センター	東茨城郡 茨城町	1	21	66	52	140	8.1%
石岡第一病院	石岡市	4	16	35	65	120	6.9%
小美玉市医療センター	小美玉市	1	2	36	48	87	5.0%
八郷整形外科内科病院	石岡市	0	15	19	25	59	3.4%
茨城県立こども病院	水戸市	0	0	5	21	26	1.5%
その他		0	23	72	50	145	8.4%
計		48	165	648	873	1,734	100.0%

石岡地方医療対策カンファレンス委員名簿

(令和元年度)

敬称略			
	所属	役職	氏名
1	石岡市医師会	会長	柏木 史彦
2	小美玉市	市長	島田 穰一
3	かすみがうら市	市長	坪井 透
4	石岡市	市長	今泉 文彦

(令和4年度)

敬称略			
	所属	役職	氏名
1	石岡市医師会	会長	柏木 史彦
2	小美玉市	市長	島田 穰一
3	かすみがうら市	市長	坪井 透
4	石岡市	市長	谷島 洋司

地域医療に係る対策を検討する専門委員会委員名簿（令和元年度）

敬称略

	区 分	所 属	役 職	氏名	備考
1	医師会	石岡市医師会	副会長	小林 雅人	
2	医療提供者 (石岡市)	石岡市医師会病院	院長	石突 正文	
3		石岡第一病院	院長	吉野 淨	
4		山王台病院	院長	幕内 幹男	
5	医療提供者 (小美玉市)	石岡循環器科脳神経 外科病院	院長	小林 博雄	
6		やまぐち医院 (石岡市医師会副会長)	院長	山口 典久	
7	医療提供者 (かすみがうら市)	太田医院 (石岡市医師会副会長)	院長	太田 仁	
8	地域医療有識者	城西大学	教授	伊関 友伸	
9	行政	土浦保健所	所長	緒方 剛	会長
10		石岡市	保健福祉部長	小倉 俊彦	副会長
11		小美玉市	保健衛生部長	倉田 増夫	
12		かすみがうら市	保健福祉部長	寺田 茂孝	

令和3年度石岡市地域医療需要動向調査報告書【概要版】

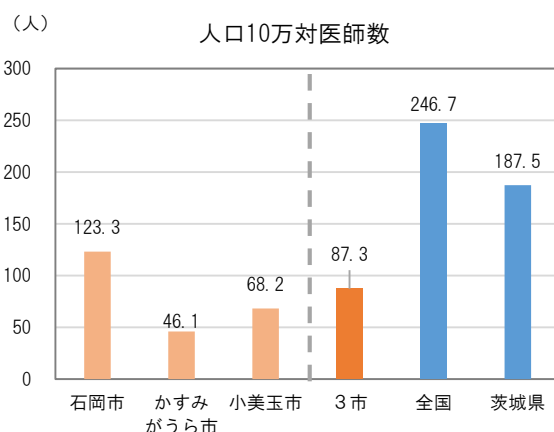
本調査では、「石岡市、かすみがうら市、小美玉市」（以下、「3市」という。）を分析対象地域としました。 ※本書の表及びグラフにおける数値は、四捨五入により端数処理をしているため、内訳の計と合計が一致しないことがある。

第1章 3市における医療提供量及び医療実績

- 3市の医療機関の医療機能別許可病床数をみると、高度急性期病床がなく、回復期病床についても少ない状況です。

病床機能別区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	休棟	全体
3市の許可病床数（床）	0	305	72	498	19	159	1,053

- 5疾病5事業に関しては、がん、災害時医療、周産期医療、小児救急医療を担う医療機関がありません。
- 石岡市内の産科医療機関の分娩対応休止により、分娩は3市外の医療機関に頼らざるを得ない状況になっています。
- 3市の人口10万人当たりの病床数をみると、全国、茨城県と比べて一般病床は大幅に少なく、一方で精神病床は大幅に多くなっています。
- 3市の人口10万人当たりの医師数をみると、全国、茨城県と比べて大幅に少なく、医師が不足している状況です。



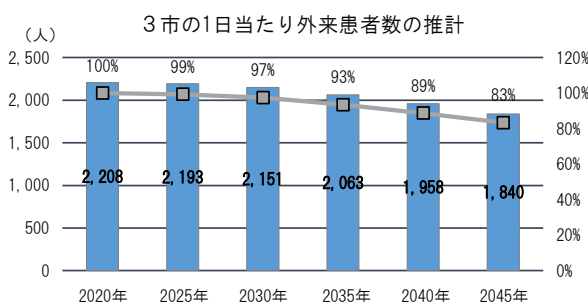
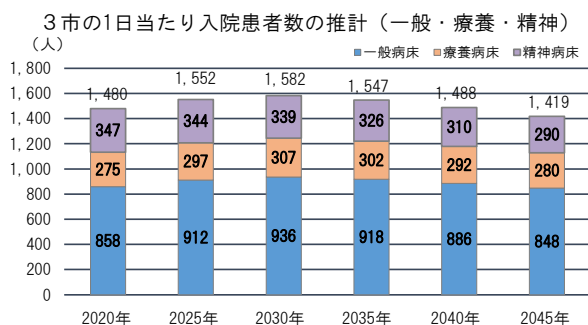
第2章 3市及び石岡市における医療需要

人口推計

- 人口は、3市とも減少し、高齢化率は、全国、茨城県を上回ると推計されます。

患者推計

- 入院患者数は、3市、石岡市ともに令和12(2030)年にピークを迎え、傷病別では循環器及び呼吸器疾患の需要が増加すると推計されます。
- 5疾病ではがん、脳卒中、糖尿病の入院需要が微増すると推計されます。
- 認知症は入院・外来ともに患者数が増加すると推計されます。



在宅医療

- 石岡市の在宅医療を受ける患者数は令和22(2040)年まで増加すると推計されます。

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
在宅医療を受ける患者数（人）	131	145	157	170	173	166
対2020年増減率	100%	111%	120%	130%	132%	127%

第3章 石岡市の国民健康保険及びマル福レセプトデータ分析

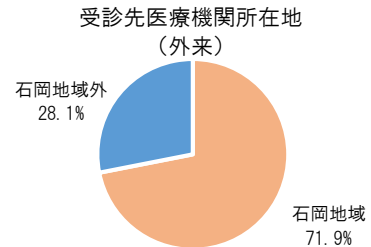
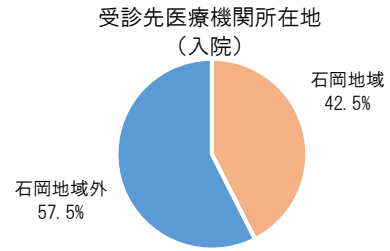
1 石岡市の国民健康保険レセプトデータ分析

入院

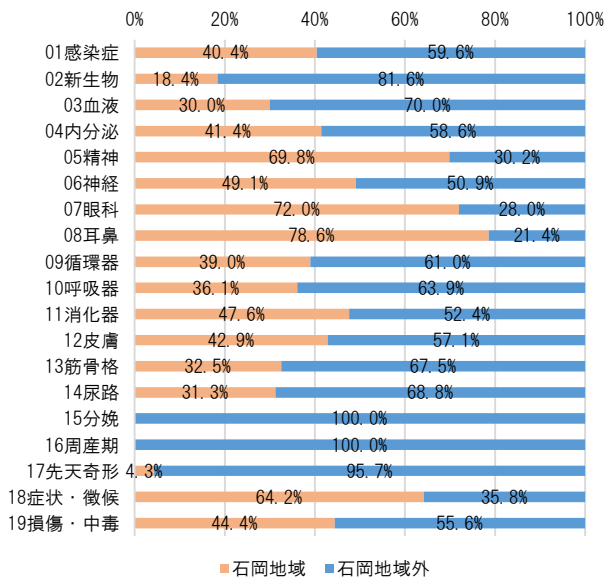
- 患者の約 60%が石岡地域外に流出しています。
- 傷病別では、新生物は約 80%、先天奇形は約 95%、分娩、周産期は 100%が石岡地域外に流出しています。

外来

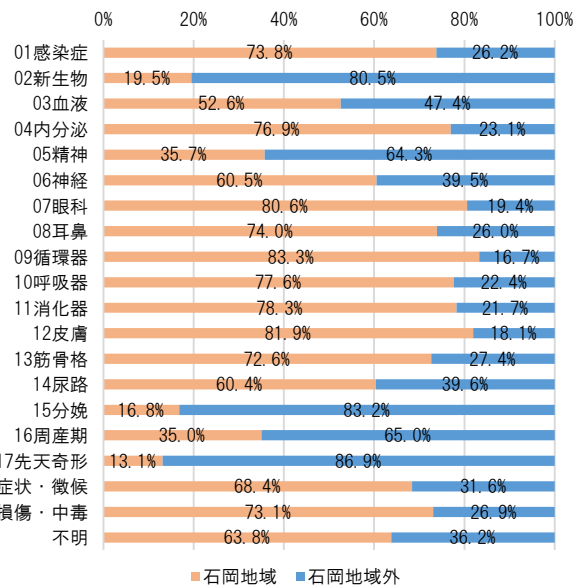
- 患者の約 70%を石岡地域内で診ています。
- 傷病別では、新生物、分娩、先天奇形は約 80%、精神、周産期は 65%が石岡地域外に流出しています。



傷病別の受診先 (入院)



傷病別の受診先 (外来)



2 石岡市のマル福レセプトデータ分析

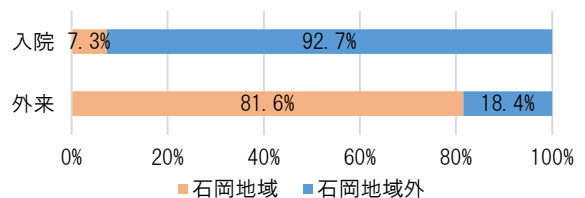
小児

- 入院は、約 90%が石岡地域外に流出しており、特に乳児（1歳未満）、幼児（1～5歳）は約 95%が流出しています。外来は、約 80%を石岡地域内で診ています。

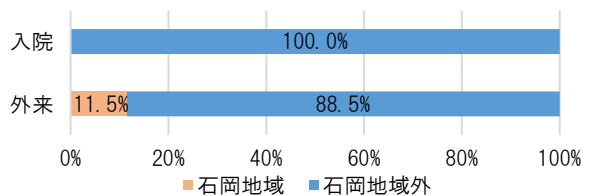
妊産婦

- 入院は 100%が、外来は約 90%が石岡地域外に流出しています。

受診先医療機関所在地【小児】



受診先医療機関所在地【妊産婦】

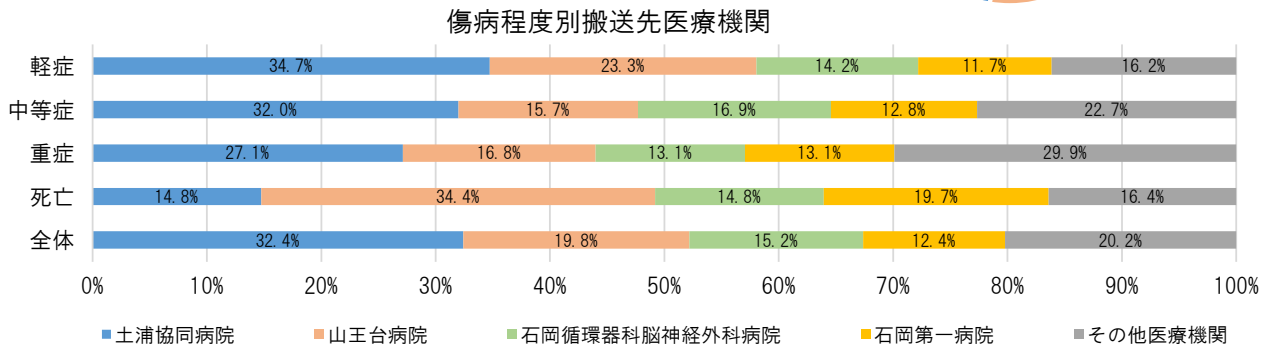
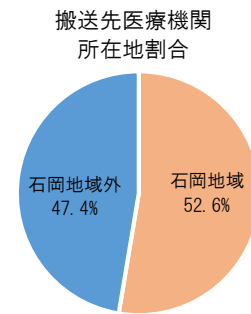


マル福：妊産婦・子ども・ひとり親家庭の親と子・重度心身障害者などの医療福祉受給対象者が、医療機関等にかかった場合に、一部負担金を助成する制度

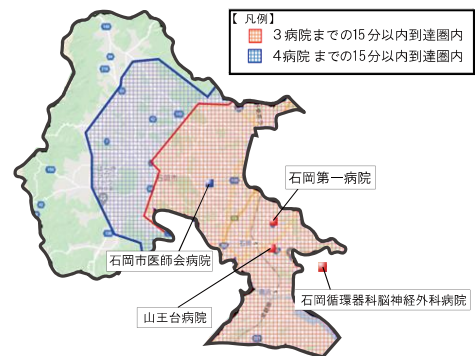
第4章 救急医療の実績

救急搬送

- ・ 石岡地域外の医療機関への搬送が約半数を占めています。
- ・ 医療機関別の搬送割合は、医療機関別でも傷病程度別でも、三次救急を担う土浦協同病院が最も多くなっています。

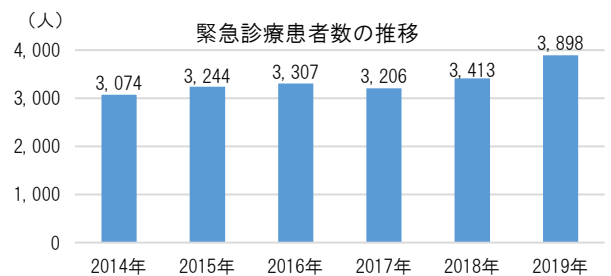


- ・ 石岡市の人口のうち、病院群輪番制を担う3病院へ15分以内に到達できるエリアの人口の割合は76.7%であり、石岡市医師会病院を含む4病院でみた場合は92.5%です。
- ・ 石岡市医師会病院の診療休止に伴い、石岡市八郷地区（市西部）からの救急搬送に時間を要する状況となっています。



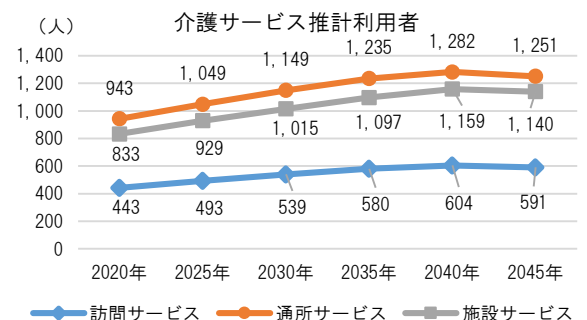
緊急診療

- ・ 平成26（2014）年から令和元（2019）年の推移をみると、年間3,000人以上の利用があり、増加傾向にあります。
- ・ 石岡市医師会病院内に設置されていた緊急診療の受け入れが令和2（2020）年7月に休止されています。



第5章 石岡市の介護需給環境

- ・ 石岡市では令和22（2040）年まで介護サービスの利用者数が増加すると推計されます。
- ・ 令和17（2035）年には施設サービス（介護老人保健施設、介護老人福祉施設）の利用者数がそれぞれ現在の施設の定員数を上回ると推計されます。



第6章 石岡地域及び石岡市における現状・課題

<p>医療提供体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石岡市の入院患者の約60%が石岡地域外に流出しているため、近隣他市との機能分化が進んでいる高度急性期医療以外の医療体制の拡充が必要です。 石岡市における分娩、周産期、先天奇形の患者は、入院・外来ともに石岡地域外への流出が多く、これらの傷病に関して医療提供ができる医療機関が必要です。 石岡地域外での分娩を行わざるを得ない状況であるため、石岡地域に分娩が可能な医療機関が必要です。 石岡市における小児の入院は約90%が石岡地域外に流出しており、また乳児（1歳未満）、幼児（1～5歳）では石岡地域での入院が3%以下となっていることから、小児医療の拡充が必要です。 3市の人口10万人当たりの医師数は全国、茨城県の平均を大きく下回っており、石岡地域における医師確保が必要です。 3市では急性期を担う医療機関からの受け皿となる回復期の病床数が不足していることから、回復期病床を増やす必要があります。 5疾病5事業に関しては、土浦市をはじめとした他市医療機関との連携を強化・継続する必要があります。 新型コロナウイルス感染症及び今後の新興感染症の拡大の際には、国や県の方針に基づき対応する必要があります。
<p>医療需要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3市では高齢化率が高いことから、今後も高齢者に対する医療の提供体制を維持する必要があります。 3市では入院患者数、外来患者数はともに減少することが推計されるものの、入院に関しては循環器及び呼吸器疾患の需要増加が見込まれるため、需要に対応できる医療提供体制を構築する必要があります。 5疾病においてはがん、脳卒中、糖尿病に関する入院の需要が増加すると推計されるため、他市医療機関との連携を強化・継続する必要があります。 認知症に関する入院患者数・外来患者数はともに増加すると推計されることから、医療提供体制を維持する必要があります。 石岡市の在宅医療の需要は増加していくと推計されることから、在宅医療提供体制を充実させる必要があります。
<p>救急医療 緊急医療</p>	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送が三次救急医療機関に集中しないよう、石岡地域での二次救急の受け入れ体制を充実させる必要があります。 石岡市医師会病院の診療休止により、石岡市八郷地区（市西部）からの救急搬送に時間を要する状況となっているため、救急医療体制を充実させる必要があります。 石岡市医師会病院に設置されていた緊急診療は、令和2（2020）年7月以降の受け入れを休止したため、緊急診療の提供体制を再構築する必要があります。
<p>介護需給環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> 将来の介護サービス利用者数の増加に備え、在宅医療提供体制の整備等を行い、医療介護連携を強化していくことが求められます。

第7章 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制を構築するための具体的対策

1 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制

第6章から考えられる石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制は以下のとおりです。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 分娩機能を持つ産科の開設 ・ 小児入院機能を持つ小児科の開設 ・ 石岡地域で完結できる二次救急体制の充実 ・ 緊急診療体制の充実 ・ 5 疾病 5 事業における他市医療機関との連携強化 ・ 高齢者の増加に伴い需要の増加が見込まれる循環器及び呼吸器疾患並びに認知症に関わる医療提供体制の継続 ・ 急性期医療を終えた患者の受け皿の確保（回復期病床の充実、医療介護連携の強化） ・ 在宅医療の需要増加に対する医療提供体制の充実、在宅支援病院等との連携強化

2 石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制構築に向けた具体的対策

石岡地域及び石岡市に必要な医療提供体制構築への課題に対する具体的な解決施策は以下のとおりです。

課題	対応策	概要
医師不足の解消	関連大学等向け寄附講座の開設	医学部が設置された大学に寄附講座を設置し、寄附額に見合う医師の確保を図る。
	地域医療支援センターの活用	地域医療支援センターへ医師派遣を要請
	大学病院のサテライト化	既存医療機関内にサテライトセンターを設置し、大学病院からの派遣医師による診療等を行う。
	開設する診療所への指定管理者制度の導入	指定管理者の管理運営による医師の確保
分娩機能を持つ産科の開設	産科開設の補助金の導入	産科の開設に必要な経費に対する補助金
	産科医療機関への分娩手当補助金の導入	分娩取扱件数等に応じて支給される手当に対する補助金
小児入院機能を持つ小児科の開設	小児科開設の補助金の導入	小児科の開設に必要な経費に対する補助金
二次救急体制の充実	救急医療体制整備補助金の導入	救急搬送患者の受け入れ数及び受入不可の割合により補助金を交付
緊急診療体制の充実	休日夜間診療運営費補助金の導入	診療延べ日数に応じて補助金を交付

令和3年度地域医療に係る市民ニーズ調査（結果報告）

（調査期間）令和3年10月29日～12月10日

（意見）のべ35件（電子申請23件，メール申請11件，意見投函箱1件）

○寄せられたご意見（主な内容） <u>13</u> 件	○地域医療に係る取り組み等
<p>①市内に分娩可能な産婦人科を</p> <p>②休日や夜間の医療体制の構築を</p>	<p>①産科の開設と②休日や夜間の緊急診療の再開に向けた取り組みとしては，先進事例を調査研究するとともに，個別に対策を検討し，関係機関等と調整しながら早期の実現を目指しています。</p> <p>進捗としては，まず，石岡第一病院と筑波大学附属病院のご協力により，令和3年7月18日から，こども休日診療を開始しており，日曜日・祝日・年末年始におけるお子さまの急な発熱などに対応しています。</p> <p>内科の休日・夜間診療については，関係機関等と調整しているところですが，現時点では，コロナ禍で対応が難しいとの見解をいただいています。今後，コロナの状況もみながら，引き続き，関係機関等へ協力を仰ぎながら対応を検討してまいります。</p>
③高齢の医師が経営するクリニックの事業承継へサポートを	③の事業承継へのサポートについては，現在，国の補助制度（個人の開業医は対象。医療法人は対象外。）がありますが，県や市レベルでの制度はありません。今後，国の補助金の周知を図るとともに，市としてどのような対策ができるか検討してまいります。
<p>④医療に係る調査の実施を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が医療機関選びをするための目安にするため（患者の満足度，治療実績，力を入れている診療分野など） ・医師や医療スタッフから行政や市民に対する要望を聴取 	④医療に係る調査については，当該市民ニーズ調査のほか，地域医療需要動向調査や市民満足度調査を実施しています。今後も，地域医療の充実に向けて必要な調査については，関係機関と協議等の上，実施を検討してまいります。
<p>⑤地域の医療リソースがひとめで分かるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石岡地域独自の「医療マップ」を作る ・近隣自治体も含め，どういう病院がどこにあるかなど，地図上ですぐ分かるものを 	⑤地域の医療リソースについては，これまで市では，石岡地域医療計画策定時に「石岡地域医療機関マップ」を作成したほか，「茨城県救急医療情報システム」を使った医療機関等の検索について，市の広報紙やホームページ等で周知しているところです。地域にある医療リソースの周知については，取り急ぎ，ホームページ上に地域の医療機関一覧等を掲載するとともに今後，市としてどのような対策ができるか検討してまいります。
⑥医療相談アプリ LEBER（リーバー）の活用促進を	⑥医療相談アプリ LEBER(リーバー)については，石岡市内の0～3歳の子どもがいる世帯に向けて，24時間医療相談ができるアプリを無償提供しているものです。対象世帯への周知については，市の広報紙やホームページのほか，通知の送付，赤ちゃん訪問等の際に，チラシの配付などを実施しています。今後も引き続き周知に努めてまいります。

<p>○寄せられたご意見（主な内容） <u>13</u>件</p>	<p>○地域医療に係る取り組み等</p>
<p>⑦医療体制の整備を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理や公設民営での病院運営も視野に入れた医療体制の整備を ・近くに公的な医療体制の整備を ・旧石岡市医師会病院あたりの場所に総合病院を ・石岡市街に拠点となる公的医療機関の設置を ・八郷地区に病院を ・八郷保健センターに公的診療所（小児科・内科・整形外科）を ・八郷消防署を八郷総合支所周辺へ移転し、既存施設（交番・市役所・保健センター）と新設施設（公的診療所・八郷消防署）を組み合わせた八郷地区の医療体制の整備 ・クリニックと総合病院とのネットワーク構築など出生から終焉まで身近な地域で完結できるきめ細かな医療を <p>⑧医療機関までの移動手手段の確保を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全域にコミュニティバスの導入 ・地域に定期的に回ってくるモバイルクリニックの導入 ・病院と石岡駅を結ぶ公共的なバスの導入 ・各専門の医師が定期的に各地域（小学校や公民館などを拠点として）を周り、希望者はその日にいけば診てもらえる仕組みの導入 <p>⑨医療機関（若手医師等）の誘致を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市独自の奨学金制度（看護師向けも含む）の創設 ・診療所の開設補助，土地提供 ・ふるさと納税による寄付（地域医療） ・医療者用に無料の宿舎を提供 ・医師の子どもの学費や保育料を無償化 ・地元出身の医学生，研修医の講演会の開催 <p>キャリア教育により新たに医師を目指す子どもを増やし，同時に，講演会を通じて，医学生や研修医が地元へ愛着を持つ機会を作る</p> <p>⑩医師不足を補う工夫を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八郷地区にある既存病院（精神科の病院）の診療機能の拡充 ・訪問看護ステーションの誘致 <p>⑪救急体制の充実を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の病院での救急車の受入割合を増加（救急受入を断られる数も減らす） ・ドクターヘリの拠点を整備 ・車両搭載型 CT 装置の配備 	<p>⑦～⑪医療体制の整備等については，現行制度上（医療法等），石岡地域において新たな病院を開設することができない（事業承継による開設等を除く。）中，既存の医療機関の機能強化や連携強化，医師等の確保対策の実施，クリニックの誘致などが対策として考えられます。</p> <p>今後，先進事例や本年度実施の調査結果等を踏まえ，将来の地域医療のあり方について整理するとともに，必要な医療体制の整備に向けて，効果的な手法等について関係機関等と協議をまいります。</p> <p>なお，旧石岡市医師会病院については，市内医療法人により，令和4年2月から新たに「石岡共立病院」として開設の予定と伺っています。診療科等については，随時，ホームページ上の「地域の医療機関一覧等」の情報を更新してまいります。</p>

<p>○寄せられたご意見（主な内容） <u>13</u>件</p>	<p>○地域医療に係る取り組み等</p>
<p>⑫地域医療に係る情報を共有できる環境を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民，医師，行政等が地域医療についてフラットな立場で話しあえる場が必要 ・市民自らが地域医療をどうしていこうか議論を交わす場が必要 ・地域医療に係る情報を市民へ丁寧に発信 ・市の広報紙へ医療情報等の連載 <p>医療について正しく理解するために，情報（医療知識）の「基本のキ」を理解するための情報提供を</p>	<p>⑫地域医療に係る情報については，これまで市の広報紙やホームページを活用して周知をしておりましたが，今後は，広報紙への連載等も含め，より丁寧な情報発信に努めてまいります。</p> <p>また，地域医療についての意見交換の場については，既存の組織の活用のほか，今後，市としてどのような対策ができるか検討してまいります。</p>
<p>⑬その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車が来るまでの緊急対応マニュアルの作成とその講習を ・高齢化や過疎化に伴い，病気や病気の重症化を未然に防ぐ工夫や仕組み（ヨガ教室や養生の知識など）を市レベルで作成を ・病児保育が必要 	<p>⑬予防医療や緊急対応の講習，病児保育等については，今後，関係機関等と協議の上，市としてどのような対策ができるか検討してまいります。</p>